

輸出事業計画

※申請者名：株式会社木村海産、品目：釜揚げしらす・しらす・ちりめん・煮干し

1. 輸出における現状と課題

釜揚げしらす、しらす、ちりめんは、国内マーケットでは価値の低いサイズの大きなものが海外で好まれる傾向にあり、日本品質の鮮度管理・安全管理の行き届いた商品へのニーズが高まっている。しかし、近年国内の産地では一次加工業者の高齢化、後継者不足が大きな問題となり、一次加工品の調達が困難となっている。

煮干しは、国内マーケットが縮小する中、海外では、食べる用途としての人気が高いほか、ペットフードとしての用途も増加傾向にある。

近年は、海外の食品メーカーや量販店から、対米HACCP認定の取得を求められるようになってきている。一次加工から二次加工まで一貫した対米HACCP認定を受けようとする場合、計量や異物除去といった手作業による行程で、菌数や品質均一化の観点から、対象となる商品が限定されていることが課題である。

2. 輸出事業計画の取組内容

【生産・製造】

一次加工品の自社加工比率の増加

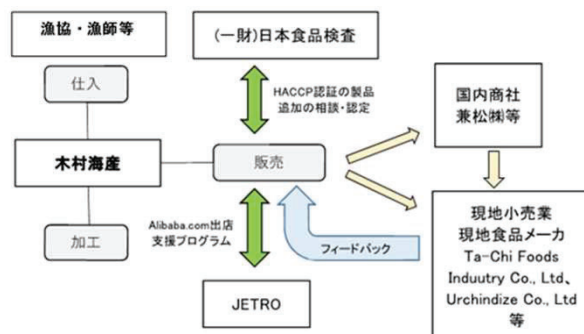
【加工】

AI搭載異物除去機と自動計量充填機の導入による対米HACCP認定対象製品の拡大

【流通・販売】

Alibaba.com 出店支援プログラムの活用による販路拡大

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	釜揚げしらす・しらす・ちりめん		煮干し	
	現 状 【2021（R3）年度】	目 標 年 度 【2027（R9）年度】	現 状 【2021（R3）年度】	目 標 年 度 【2027（R9）年度】
輸出額（円）	1,270,000	33,000,000	17,600,000	37,000,000
輸出量（t）	1	16.5	12	34
輸出先国	シンガポール	シンガポール、香港、台湾、 タイ、インドネシアなど	台湾、韓国	台湾、韓国、シンガポール、 香港、カナダ、タイ、インド ネシアなど
生産量（t）	800	1,150	680	800